様式第4の二 (第4条、第5条関係)

屋内タンク貯蔵所構造設備明細書

事	業	の	概	要											
タ室ンの)	壁	延焼のおそれ のある外壁						床						
ク構 専造			その他の壁						出入口		(し	(しきいの高さ cm)			
用		屋	根		:					その他					
		あの一部にタ			階数			設置降	当			建	築面積		m²
ンク専用室を設ける場合の建築物の 構造			建築物構造概												
タ	形	形 状							常圧	(kPa)			
	寸			法							容量	Ł			
ンク	材質、板厚														
の構造・設備	通				種			別		数	数		径又は作動圧		
			気 管												mm kPa
						種		別	J		数		作	動	圧
	安	全	装 置												kPa
	液	液量表示装置									引火防	5.止装制	置	有	· 無
注入口の位置										注入口			有	· 無	
ポンプ設備の概要											接地	電	亟		
ボン 	/ブ	設備	が根	. 要									T		
採光、照明設備					換気				₹、	は、排出の設備					
配				管											
消	火	(設	備					警	幸	報 設	備			
工 住	事所	請	負氏	者 名								電	話		

備 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

² 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。